

登録医ニュース

メタセコイア

第36号
2016.2

編集・発行/東北薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8521 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-pharm.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-pharm.ac.jp

年頭のご挨拶



東北薬科大学病院 病院長 こんどう 近藤 たかし 丘

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。

本年は東北薬科大学病院が東北医科薬科大学病院として新たなスタートをきる特別な年と言えます。東北薬科大学病院は、これまで地域医療を支えるべく力を尽くしてまいりましたが、ハード、ソフト両面で必ずしも十分に地域の期待を満たす機能を果たしてきたとは言えない面もあったと思われます。4月からは医学部の附属病院、文字通りの大学病院として医師の増員は言うまでもなく、その他の医療スタッフも増員し、診療の拡大に備える所存です。とはいえ、新病院の建設は本年後半からのスタートであり、しばらくは旧来の建物での診療となりますために、100%その機能を発揮できるまでには今しばらく時間がかかることが見込まれます。そのような中で、4月からは、1年余り休止していた精神科病棟を再開し、診療科としては小児科と腎臓内科の診療をスタートし、さらには総合診療科ならびに救急の診療体制も整うことになり、少しずつ病院としての機能の拡大と充実がはかれるようになります。医師の数も100名を超え、診療科の新設のみならず従来の診療科のスタッフも強化されますので、より多くの、そしてより厳しいケースの診療にも応じられるようになって参りますが、そのようなテコ入れによっても大学病院としてはまだまだ未熟で不十分な体制と言わざるを得ず、今後、6年後の医学部の完成までの間に全ての面における機能を漸次強化していき、地域医療の中核として登録医の皆様の全幅の信頼を得られるような成熟した大学病院に成長をしていかねばならないと、年頭にあたり気持ちを新たにしているところです。

本年は大学病院として成熟していくための第1歩をスタートさせる記念すべき年となります。本年も地域の皆様、登録医の皆様の変わらぬあたたかいご支援を賜り、大学病院として円滑な歩みを開始し、順調に成熟していくためにお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科からのお知らせ

—舌下免疫療法とレーザー下甲介焼灼術—

副院長、耳鼻咽喉科主任部長 東海林 史



スギ花粉症の舌下免疫療法は、スギ花粉症の新たな根本的治療法として、近年マスコミなどでも紹介されており、当院でも導入の準備を進めてきました。このたび準備が整い 10 月から治療を開始しております。適応は 12 歳以上のスギ特異的 IgE 抗体陽性の方で、禁忌は β 阻害薬使用中の方や不安定な気管支喘息の方となっております。ご希望の方がおりましたら、当院耳鼻科をご紹介ください。

なお、スギの舌下免疫療法は花粉症の時期に始めるとアナフィラキシーなどの副作用が起こりやすいとされるため、2 月から 5 月は新規の治療開始はできませんが、抗アレルギー薬などで治療後、適期になりましたら舌下免疫療法を開始いたします。

また、CO₂レーザーによる下甲介焼灼術も行っています。慢性の鼻閉に対して特に効果があり、外来手術として行なっております。舌下免疫療法は最低でも 2 年以上の定期通院が必要なので、即効性を期待する場合は、レーザー治療をおすすめします。

精神科外来からのお知らせ

精神科外来は 9 月より外来診療を開始しておりますが、平成 27 年 12 月 21 日より次のとおり専門外来を開設いたします。原則紹介状が必要です。

ご希望する患者さんがおりましたら精神科外来へご相談下さい。

名 称	曜日・受付時間等	診 療 内 容
うつ病・双極性障害 (躁うつ病) 外来	毎週月曜日 受付 13:30~16:00	診断と治療導入から、治療を受けてもなかなか治らない方などの相談やご紹介まで広くお受けしたいと思えます。 (ただし、入院診療ができませんので、当面は重症例に関しては継続治療をお引き受けできません。)
職場の疲労・うつ外来	予約制 毎週火曜日 ①14:00 ②15:00 予約制のため、必ず精神科外来にて予約をしてください	仕事が主因で慢性疲労、うつ状態、睡眠障害となった方々へのご相談、必要であれば薬物療法や、適宜休養を勧める外来です。 (ただし、入院診療ができませんので、当面は重症例に関しては継続治療をお引き受けできません。)
薬の相談、飲み合わせの 相談外来	毎週水曜日 受付 13:30~16:00	内科の薬を飲みながら、精神科の薬を飲むことに不安を感じておられる方、薬の副作用に悩んでいる方、たくさん薬を飲むことに不安を感じている方などの相談に乗ります。

不明な点がございましたら、直接精神科外来 **022-259-1221(代)** へお問い合わせください。

地域医療研修会（講演会・交流会）開催しました

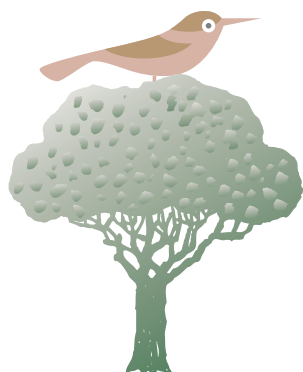


登録医の先生方との交流会『東北薬科大学病院地域医療研修会（講演会・交流会）』が平成27年10月7日（水）午後7時よりホテルメトロポリタン仙台において開催されました。登録医の先生方と当院の職員の合計113名の参加でした。講演会は「今日の肺癌治療」を当院呼吸器センター センター長副院長 田畑俊治、「前立腺癌の診療最前線」を東北大学外科病態学講座泌尿器科学分野 教授 荒井陽一先生の2題でした。続いて交流会を行い、近藤丘病院長の挨拶のあと、山田憲一内科医院 山田憲一院長よりご挨拶をいただきました。登録医の先生方から貴重なご意見をいただきながら、和やかな中で終了いたしました。



新規登録医療機関

新たに登録医にご参加いただきました



五十嵐内科（宮城野区）

片倉胃腸科内科医院（青葉区）

六丁の目 胃と腸クリニック（若林区）

むらた日帰り外科手術・WOC クリニック（太白区）

五橋駅前クリニック（若林区）

本塩釜耳鼻咽喉科クリニック（塩釜市）

八木山内科クリニック（太白区）

高柳内科医院（若林区）

入野田歯科医院（若林区）

五十嵐孝之 先生

片倉 俊樹 先生

前川 浩樹 先生

村田 幸生 先生

武田 尚久 先生

沖津 尚弘 先生

鴫田 克久 先生

高柳 和枝 先生

入野田昌史 先生

第21回オープンゴルフコンペ

ゴルフコンペを平成27年10月25日に開催いたしました。あいにく、風が強くプレーには不向きな天候でしたが、楽しく1日を終えることができました。参加者の皆様とプレーを楽しみ、食事を楽しみ、この機会に皆様とより一層の親睦を深めることができました。

また、お知り合いの方で参加したいという方がおりましたら、ぜひ連携課までご一報ください。

今後も多数のご参加のほどよろしくお願い申し上げます。





外来診療担当一覧表

平成28年2月1日現在



東北薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通FAX)

診 療 科			月		火		水		木		金	
1F	消化器センター	消化器内科 診察室④	新患	山 本 毅	新患	山 本 毅	再来	山 本 毅	再来	米 地 真	再来	山 本 毅
		診察室⑤	再来	支 倉 翔太郎	再来	目 黒 敬 義	新患	目 黒 敬 義	新患	福 士 大 介	新患	米 地 真
		診察室⑥	新患	佐 藤 倫 紀	再来	松 村 吉 史	再来	高 山 歳 三	新患	松 村 吉 史	新患	目 黒 敬 義
		診察室⑦	新患	支 倉 さやか	新患	支 倉 翔太郎	新患	支 倉 さやか	新患	大 方 智 樹	新患	高 山 歳 三
		外科 新患 診察室①		岩 指 元		柴 田 近		向 田 和 明		柴 田 近		児 山 香
		再来 診察室②		木 村 俊 一		向 田 和 明		岩 指 元		児 山 香		荒 木 孝 明
		乳腺外来 新患・再来		朴 英 進		朴 英 進		朴 英 進		朴 英 進		
	呼吸器センター	呼吸器内科 新患		海老名 雅 仁		大 野 勲		大河原 雄 一		海老名 雅 仁		関 雅 文
		再来		海老名 雅 仁		海老名 雅 仁		海老名／小 林		海老名 雅 仁		
		慢性気管支炎・サルコイドーシス 新患・午後				海老名 雅 仁				海老名 雅 仁		
		呼吸器外科 新患・再来		田 畑 俊 治		田 畑 俊 治		田 畑 俊 治		田 畑 俊 治		田 畑 俊 治
				箕 輪 宗 生								
	循環器センター	循環器内科 新患 診察室①	交替	片 平／山 家		片 平 美 明		片 平 美 明		山 中 多 聞		中 野 陽 夫
		診察室②		菊 田 寿		関 口 祐 子		住 吉 剛 忠		長谷川 薫		菊 田 寿
		再来 診察室③		宮 下 武 彦		山 中 多 聞		山 家 実		中 野 陽 夫		関 口 祐 子
		心臓血管外科 診察室④		三 浦 誠								三浦誠／渡辺卓
	リウマチ膠原病センター	新患		武 田 朋 樹		武 田 朋 樹		岡 友美子	第2 第4	小 寺 隆 雄		岡 友美子
		再来 午前		岡 友美子		岡 友美子		舟 生 俊 夫		舟 生 俊 夫		竹 下 美 紀
		午後		岡 友美子		岡 友美子						武 田 朋 樹
		午前		小 寺 隆 雄		小 寺 隆 雄				岡 友美子		小 寺 隆 雄
		午後		小 寺 隆 雄		小 寺 隆 雄				岡 友美子		小 寺 隆 雄
		再来(整形)		佐 野 徳 久				峯 岸 英 絵				石 塚 正 人
	整形外科	診察室①	新患	峯 岸 英 絵	新患	峯岸/石塚/佐藤	再来	峯 岸 英 絵	新患	峯岸/石塚/佐藤		
		診察室②	再来	佐 野 徳 久	再来	佐 野 徳 久	再来	佐 野／石 塚	再来	佐 野 徳 久	再来	佐 野 徳 久
		診察室③	再来	石 塚 正 人			新患	佐 藤 俊一郎			新患	石 塚 正 人
		再来	佐 藤 俊一郎									
	糖尿病内科	診察室①			《応援医師》							
		診察室②		平 井 敏		平 井 敏		平 井 敏		《応援医師》		平 井 敏
		診察室③		善 積 信 介		善 積 信 介		善 積 信 介		善 積 信 介		
	禁煙外来		第2 第4	関 雅 文								
	神経内科	新患		小 林 理 子		川 口 典 彦		江 面 道 典		藤 盛 寿 一		石 垣 あ や
		再来		《応援医師》		小 林 理 子		藤 盛 寿 一		石 垣／川 口		金 子 仁 彦
	リハビリテーション科			室 谷 嘉 一				《応援医師》				大 山 千 佳
2F	耳鼻咽喉科		野 口 直 哉	隔週	舘 田／野 口		舘 田 豊	隔週	野 口／舘 田		舘 田 豊	
			栗田口 敏 一		高 橋 由紀子		野 口 直 哉		東海林 史		東海林 史	
			東海林 史	隔週	東海林／栗田口		栗田口 敏 一		高 橋 由紀子		栗田口 敏 一	
	放射線科		小 山 周 樹		小 山 周 樹		小 山 周 樹		小 山 周 樹		《大学医師》	
		歯科	新患・再来	細 谷 誠		細 谷 誠		細 谷 誠		細 谷 誠		細 谷 誠
	口腔外科				午後	宮 下 仁			午後	篠 原 文 明		
	泌尿器科	新患・再来 午前	福 崎 篤		《応援医師》				《応援医師》			
		午後	福 崎 篤		松下真史／大黒祥光							
	内分泌外来	午前								第2 第4	井 樋 慶 一	
	皮膚科	診察室①		國 方 なぎさ				國 方 なぎさ		千 釜 理 佳		國 方 なぎさ
	眼科	診察室①		高 橋 秀 肇		西 郷 陽 子		西 郷 陽 子		西 郷 陽 子		高 橋 秀 肇
		診察室②		西 郷 陽 子		多 田 麻 子		多 田 麻 子		高 橋 秀 肇		多 田 麻 子
	精神科	診察室① 午前		鈴 木 映 二		鈴 木 映 二		鈴 木 映 二		沼 倉 堅 一		沼 倉 堅 一
		午後		鈴 木 映 二				鈴 木 映 二				沼 倉 堅 一
		診察室② 午前		中 川 誠 秀		中 川 誠 秀		中 川 誠 秀		鈴 木 映 二		中 川 誠 秀
		午後		沼 倉 堅 一				沼 倉 堅 一				
	腫瘍内科	診察室		木 場 崇 剛		木 場 崇 剛		木 場 崇 剛		木 場 崇 剛		木 場 崇 剛
				三田地 泰 司						三田地 泰 司		
	総合診療科	診察室				人 見 秀 昭						
	産婦人科			深 谷 孝 夫				深 谷 孝 夫		深 谷 孝 夫		深 谷 孝 夫
				妹 尾 匡 人		妹 尾 匡 人		妹 尾 匡 人		妹 尾 匡 人		妹 尾 匡 人
1F	健康管理センター		隔週	阿 部／三田地		三田地 泰 司	隔週	三田地／阿 部		人 見 秀 昭	隔週	阿 部／田 林
			隔週	関／柴田／児山		田 林 暁 一	隔週	田 林／阿 部	隔週	田林/阿部/渡邊/三田地	隔週	田 林／渡 邊

※都合により担当医師が変更している場合があります。